

令和3年度幡多地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）

幡 多 地 域 本 部

令和3年2月8日（月）

令和3年度地域アクションプランの追加、削除等（予定項目）

地域アクションプランへの支援の方向性

(1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーにより、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし（R2～新規）
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

(2) 地域への経済波及効果の大きい案件の課題解決に向けた支援の強化

- ①課題一貫支援型アドバイザーにより、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援（R2～新規）
- ②課題解決型アドバイザーにより、個別課題の解決を支援

地域アクションプラン数 R2年度 217件 → R3年度 223件（+6）

	R2年度	R3年度				A P 数
	A P 数	増減			A P 数	
		追加	削除	統合・分割		
安芸	31			▲ 1	▲ 1	30
物部川	25	1			1	26
高知市	24		▲ 1		▲ 1	23
嶺北	25					25
仁淀川	33	1			1	34
高幡	37	4			4	41
幡多	42	2			2	44
合計	217	8	▲ 1	▲ 1	6	223

○地域産業クラスタープロジェクト R2年度 18件 → R3年度 19件（+1）

幡多地域アクションプラン項目（第4期計画（R2年度））と第4期

No.	現在(令和2年度)	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		10	10	13	8	8	8
1	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進	●					
2	土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進		●				
3	四万十ふしゆかんの産地形成とブランド化			●			
4	三原村ユズ産地化計画の推進					●	
5	大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進				●		
6	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	●					
7	すくも湾漁協による水産物の加工・販売	●					
8	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売	●					
9	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大				●		
10	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大				●		
11	幡多地域産品販売体制の構築	●	●	●	●	●	●
12	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進	●					
13	幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進	●					
14	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進		●				
15	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進		●				
16	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築		●				
17	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化		●				
18	西土佐産栗の地産外商の推進			●			
19	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化			●			
20	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)			●			
21	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化			●			
22	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大			●			
23	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進			●			
24	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進			●			
25	地域商業活性化拠点「はれのぼ」を核とした中心市街地の活性化			●			
26	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出				●		
27	三原村のどぶろくによる地域活性化					●	
28	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進					●	
29	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進						●
30	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進						●
31	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進						●
32	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進						●
33	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	●	●	●	●	●	●
34	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化	●	●	●	●	●	●
35	宿毛市の地域資源を活用した観光振興	●					
36	竜串地域の観光再生構想の推進		●				
37	土佐清水まるごと戦略観光の展開		●				
38	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進			●			
39	大月町の地域資源を活用した観光振興				●		
40	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進					●	
41	黒潮町の地域資源を活用した観光推進						●
40	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興					●	

計画Ver. 2 (R3年度) の対比表

【幡多地域】

	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(令和3年度)	
	10	11	13	8	8	9			
①追加	●						1	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進	
		●					2	土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進	
			●				3	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化	
					●		4	三原村ユズ産地化計画の推進	
				●			5	大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進	
	●						6	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	
	●						7	すくも湾漁協による水産物の加工・販売	
	●						8	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売	
				●			9	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大	
				●			10	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大	
	●	●	●	●	●	●	11	幡多地域産品販売体制の構築	
	●						12	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進	
	●						13	幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進	
		●					14	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進	
		●					15	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進	
		●					16	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築	
		●					17	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化	
	●	●					18	新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化	
			●				19	西土佐産栗の地産外商の推進	
			●				20	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化	
			●				21	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)	
			●				22	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化	
			●				23	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大	
			●				24	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進	
			●				25	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進	
			●				26	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化	
				●			27	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出	
					●		28	三原村のどぶろくによる地域活性化	
					●		29	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進	
	②追加						●	30	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進
							●	31	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進
							●	32	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進
							●	33	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進
							●	34	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進
		●	●	●	●	●	●	35	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
		●	●	●	●	●	●	36	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化
		●						37	宿毛市の地域資源を活用した観光振興
			●					38	竜串地域の観光再生構想の推進
			●					39	土佐清水まるごと戦略観光の展開
				●				40	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進
					●			41	大月町の地域資源を活用した観光振興
						●		42	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進
							●	43	黒潮町の地域資源を活用した観光推進
							●	44	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興

幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	<p>新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化（土佐清水市）</p> <p>【実施主体】</p> <p>◎(有)ヤマア</p>	<p>宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。</p>
2	<p>黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進（黒潮町）</p> <p>【実施主体】</p> <p>◎土佐のあまみ屋、黒潮町商工会</p>	<p>新たな採かん施設・結晶ハウスを核として、天日塩の生産量不足による売上げの機会損失を解消し、新たな加工品の開発・販売を行うとともに、黒潮町商工会による「地域ブランド化」の推進により、黒潮町産の天日塩全体の販売拡大と知名度の向上を図る。</p>

追加項目（案）

追加

幡多地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化 (土佐清水市)		
実施主体	(有)ヤマア		
APへの位置づけ	R3.4月		
事業概要	宗田節等生産の焙乾工程に、新たに焼津式乾燥機等を導入し、生産性の向上や生産拡大、削り節小売商品の磨き上げにつなげることにより、安定的な雇用拡大や地域の基幹産業の振興、知名度向上を目指す。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	1.9億円 (R元)	同左		2.3億円

会計年度：7～6月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆顧客のニーズに合わせた節製造の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節（丸節）の生産拡大（R元～） ・宗田節以外の節（サバ、ムロ、うるめ節等）の生産拡大（R元～） ・県版 HACCP 第2ステージ認証取得（R元） ・産業振興アドバイザー（発掘支援型）の活用（R2） <p>◆販売拡大・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ECサイトを活用した販売開始（R元～） ・新商品「宗田ジャージャー」の開発・販売開始（R元） ・高知県産品商談会（県地産外商公社）への出展（R2） ・オンライン商談会への参加（R2） ・動画を活用した商品PR（R2～） ・ラーメン店への業務用商品の販売（R2～） ・SNSを活用した商品PR（R2～） <p>◆雇用体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧来の節納屋の雇用形態の見直し（R2） ・宗田節以外の節の生産強化による年間操業及び雇用の安定 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品「宗田ジャージャー」の開発（R元） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客のニーズに合わせた丸節の生産拡大 ・小売商品の販売増 ・インターネットを活用した販売の強化 ・雇用の拡大、外国人労働者の受入れ ・新規取引先の開拓 ・衛生管理体制の強化（小売商品を含む） →県版 HACCP 第3ステージ認証取得

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化	施設整備及び HACCP 認証取得		生産体制の強化		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： 施設整備（焼津式乾燥機、煮熟設備）及び稼働開始、県版 HACCP 第3ステージ認証取得 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用、各種研修の参加呼びかけ 		<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： 増産に伴う生産管理の見直し、サバ、ムロ、うるめ等の節の生産強化、従業員のスキルアップ ●県（地域本部等）： 生産管理に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種セミナーの情報提供 		
◆販売拡大・新商品の開発	既存商品の磨き上げ		新商品の開発		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： マーケティング分析や既存商品のパッケージの見直し等の改良、ブランディング ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、商談会等の情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： 市場調査によるニーズの把握及び新商品の開発 ●県（地域本部等）： 商品開発に関する産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援メニューの提案 		
	販路開拓		インターネットを活用した販売の促進		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： 商談会等への出展による販売先の開拓、既存取引先への販売拡大、他事業者と連携した販路開拓 ●県（地域本部等）： 商談会の情報提供、土佐MBA等の講座の提案 		<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： HPやSNSを活用し、宗田節商品等のPR、販売促進 ●県（地域本部等）： 各種研修、セミナー等の参加呼びかけ 		
◆雇用体制の強化	生産増に伴う雇用の強化				
<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ヤマア： 生産増に伴う雇用の創出、外国人研修生の受入れ ●県（地域本部等）： 各種支援策の提案、研修等の参加呼びかけ 					

追加項目 (案)

追加

幡多地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.31 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進 (黒潮町)		
実施主体	◎土佐のあまみ屋、黒潮町商工会		
APへの位置づけ	R3.4月		
事業概要	新たな採かん施設・結晶ハウスを核として、天日塩の生産量不足による売上げの機会損失を解消し、新たな加工品の開発・販売を行うとともに、黒潮町商工会による「地域ブランド化」の推進により、黒潮町産の天日塩全体の販売拡大と知名度の向上を図る。		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	2,442万円 (R元)	同左		3,743万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興アドバイザー(発掘支援型)の活用 (R2) 土佐 MBA ナリワイセミナーの受講 (R2) <p>◆販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託による加工品(米味噌)の開発・販売 (H23~) ネット通販の検討・準備 (R2) <p>◆地域ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域団体商標制度についての勉強会開催 (R2) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用の創出 R2: 7人 「本場の本物※」認定 (H21) ※(一社)食品産業センターが認定する地域食品ブランドの表示基準 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産量不足の解消 新規加工品の開発・販売 新規採かん施設及び結晶ハウスの整備 県版 HACCP の認証取得 地域ブランド化の推進

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の強化	<p>新規採かん施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土佐のあまみ屋： 農地転用等の手続き、採かん施設整備、既存結晶ハウス内の結晶箱の増設 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 		<p>新規結晶ハウスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土佐のあまみ屋： 新規結晶ハウス整備 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 		
	<p>衛生管理体制の強化及び人材確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土佐のあまみ屋： 県版 HACCP 認証取得に向けた取り組み、雇用拡大、従業員教育の実施 ●県（地域本部等）： 県版 HACCP に関する講習会及び研修会等に係る情報提供、その他各種支援制度に関する情報提供 				
◆販売拡大	<p>食品加工業者との連携・加工品開発、販売</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐のあまみ屋： ネット通販の開始、新たな加工品の開発 ●県（地域本部等）： 商品開発のための産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
◆地域ブランド化の推進	<p>地域ブランド化の推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●黒潮町商工会： 地域団体商標制度への出願検討、町内事業者の合意形成、地域認証制度の創設 ●県（地域本部等）： 地域の頑長の人づくり事業の提案、各種支援制度に関する情報提供 				
<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体商標制度：地域の産品等について、事業者の信用の維持を図り、「地域ブランド」の保護による地域経済の活性化を目的として平成18年4月1日に導入された制度。「地域の名称」と「商品(サービス)名」等の組み合わせで登録可能。 ・地域認証制度：「製法基準」「産地基準」「安全基準」を設定し、基準をクリアした商品に対して認証を付与する制度。 					

修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト (宿毛市)		
実施主体	◎宿毛市、◎(一社)スタートアグリカルチャーすくも、JA 高知県（幡多地区）、(一社)宿毛市観光協会、他関連事業者		
APへの位置づけ	R2.4月		
事業概要	H31.4月からクラスタープランの取り組みを開始。宿毛市の主要農産物である文旦等の「柑橘類」と「イチゴ」の生産拡大を核に、加工・観光などの事業者との連携を強化することで、地域産業クラスター化を図り、地域活性化につなげる。		

指標	出発点	実績				目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5
(1) イチゴ生産量	80t					95t
(2) イチゴ生産者戸数	9戸					15戸
(3) 文旦栽培面積	90ha					96ha

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートアグリカルチャーすくも設立（H31.4月） <p>◆商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> イチゴを使った新商品を開発中（林邸 cafe） <p>◆推進体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスタープラン策定（H31.4月） プロジェクトチーム会開催（R元.7月） <p><主な成果></p> <p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートアグリカルチャーすくもに職員2名雇用、研修生3名確保 イチゴ用ハウス完成（R元.11月） 	<p>◆商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐田農園の「冷凍イチゴ」を宿毛市のふるさと納税の返礼品に追加（R元.7月） <p><課題></p> <p>◆生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存生産者の栽培面積の拡大による生産量及び所得向上、新規就農者への農地の確保（文旦） JAの文旦集出荷場の高度化（文旦） 農業研修生の確保、農業研修生などのハウス確保の支援、収穫最盛期の労働力確保、健全苗の確保（イチゴ） <p>◆商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発・販売の強化、地元飲食店や観光業者との連携による地元食材を核にした地域イベントの開催、グリーンツーリズムの推進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の強化	イチゴの栽培研修、新規研修生の確保、生産者等の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)スタートアグリカルチャーすくも、宿毛市、JA高知県： イチゴ農業研修生の確保及び研修、研修生などの用地（ハウス）の確保支援、健全苗の育成、柑橘農家への雇用等に関する支援 ●県（幡多農業振興センター等）： 各種支援制度に関する情報提供、各協議への参加 				
					文旦の生産拡大
			<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市：栽培面積の拡大に係る候補地の選定及び調整、補助事業の活用に伴う事業計画の策定 ●県（幡多農業振興センター等）： 支援制度に関する情報提供、事業計画策定及び栽培管理に伴う支援 		
	文旦集出荷場の高度化の検討		高度化整備		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県： 各関係者との協議、補助事業の活用検討 ●県（幡多農業振興センター等）、宿毛市： 各種支援制度に関する情報提供、各協議への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県： 機械整備 ●県（幡多農業振興センター等）、宿毛市： 各種支援制度に関する情報提供 		
◆商品開発	加工品、メニューの開発・販売、地域イベントの開催、グリーンツーリズムの推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市、市内加工業者、宿毛市観光協会、飲食店など： 新商品のコンセプトづくり、ターゲット選定、試作品づくり、市場調査、製造方法等の検討、商品化の実現、地域イベントの開催、観光農園の整備検討 ●県（地域本部等）、宿毛市： 試作品づくりへのアドバイスを得るための支援策提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供 				
◆推進体制の強化	チーム会の取り組みの強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市、市内観光業者、宿毛市観光協会、飲食店など： プロジェクトチーム会・勉強会等の開催による情報共有、連携強化 ●県（地域本部等）： 各会議への参加、各種支援制度に関する情報提供 				

修正後

幡多地域アクションプラン

分野

農業

AP 名 (実施地域)	No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト (宿毛市)
実施主体	◎宿毛市、◎(一社)スタートアグリカルチャーすくも、JA 高知県 (幡多地区)、(一社)宿毛市観光協会、他関連事業者
AP への 位置づけ	R2.4 月
事業概要	H31.4 月からクラスタープランの取り組みを開始。宿毛市の主要農産物である文旦等の「柑橘類」と「イチゴ」の生産拡大を核に、加工・観光などの事業者との連携を強化することで、地域産業クラスター化を図り、地域活性化につなげる。

指標	出発点	実績		目標
		R 元	R2	R5
(1) イチゴ生産量	48t (H30)	44t		63t
(2) イチゴ生産者戸数	9 戸 (H30)	10 戸		15 戸
(3) 文旦栽培面積	90ha (H30)	90ha		96ha

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆生産体制の強化

- ・スタートアグリカルチャーすくも設立 (H31.4 月)

◆商品開発

- ・イチゴを使った新商品を開発中 (林邸 cafe)

◆推進体制の強化

- ・クラスタープラン策定 (H31.4 月)
- ・プロジェクトチーム会開催 (R 元.7 月)

<主な成果>

◆生産体制の強化

- ・スタートアグリカルチャーすくもに職員 2 名雇用、研修生 3 名確保 (R 元)
- ・イチゴ用ハウス完成 (R 元.11 月)

◆商品開発

- ・佐田農園の「冷凍イチゴ」を宿毛市のふるさと納税の返礼品に追加 (R 元.7 月) ・スタートアグリカルチャーすくもで生産したイチゴのジャムが宿毛市ふるさと納税返礼品に採用 (R2)

<課題>

◆生産体制の強化

- ・既存生産者の栽培面積の拡大による生産量及び所得向上、新規就農者への農地の確保 (文旦)
- ・JA の文旦集出荷場の高度化 (文旦)
- ・農業研修生の確保、農業研修生などのハウス確保の支援、収穫最盛期の労働力確保、健全苗の確保 (イチゴ)

◆商品開発

- ・加工品の開発・販売の強化、地元飲食店や観光業者との連携による地元食材を核にした地域イベントの開催、グリーンツーリズムの推進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の強化	イチゴの栽培研修、新規研修生の確保、生産者等の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)スタートアグリカルチャーすくも、宿毛市、JA高知県： イチゴ農業研修生の確保及び研修、研修生などの用地（ハウス）の確保支援、健全苗の育成、柑橘農家への雇用等に関する支援 ●県（幡多農業振興センター等）： 各種支援制度に関する情報提供、各協議への参加 				
					文旦の生産拡大
			<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市：栽培面積の拡大に係る候補地の選定及び調整、補助事業の活用に伴う事業計画の策定 ●県（幡多農業振興センター等）： 支援制度に関する情報提供、事業計画策定及び栽培管理に伴う支援 		
	文旦集出荷場の高度化の検討		高度化整備		
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県： 各関係者との協議、補助事業の活用検討 ●県（幡多農業振興センター等）、宿毛市： 各種支援制度に関する情報提供、各協議への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ●JA高知県： 機械整備 ●県（幡多農業振興センター等）、宿毛市： 各種支援制度に関する情報提供 		
◆商品開発	加工品、メニューの開発・販売、地域イベントの開催、グリーンツーリズムの推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市、市内加工業者、宿毛市観光協会、飲食店など： 新商品のコンセプトづくり、ターゲット選定、試作品づくり、市場調査、製造方法等の検討、商品化の実現、地域イベントの開催、観光農園の整備検討 ●県（地域本部等）、宿毛市： 試作品づくりへのアドバイスを得るための支援策提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、その他、各種支援制度に関する情報提供 				
◆推進体制の強化	チーム会の取り組みの強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●宿毛市、市内観光業者、宿毛市観光協会、飲食店など： プロジェクトチーム会・勉強会等の開催による情報共有、連携強化 ●県（地域本部等）： 各会議への参加、各種支援制度に関する情報提供 				

修正項目（案）

修正前

幡多地域アクションプラン		分野	水産業
AP名 (実施地域)	No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)		
実施主体	◎土佐清水食品(株)、土佐清水鯉節水産加工協同組合、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市		
APへの位置づけ	H21.4月		
事業概要	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。		

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
土佐清水食品(株)の売上高	18.5億円					23.6億円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆保管・加工施設の整備及び運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業戦略策定 (H29、土佐清水 HD) ・メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立 (H29～) ・新冷凍保管施設の稼働開始 (H31.4月～) ・県版 HACCP 第2ステージ認証取得 (H29、土佐食) ・県版 HACCP 第3ステージ認証取得 (R元、土佐食) <p>◆スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物流通システムの整備等 (H21、元気プロジェクト) →H21 産振補助金の活用 (事業費 3,978万円) ・殺菌・真空包装機器の整備 (H22、土佐食) →H22 産振補助金の活用 (事業費 6,878万円) ・宗田節関連新商品開発 (H23、H25、元気プロジェクト) →H23、H25 産振補助金の活用 (事業費 1,145万円) ・道の駅「めじかの里」指定管理者(H26～、土佐食) ・宗田節新商品 (スープブロス) の開発 (R元、土佐清水食品) ・スープブロスのテストマーケティング開始 (R元) ・土佐清水食品(株)発足 (R元) 土佐清水ホールディングス(株)が土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクトを吸収合併 	<p>◆メジカ・宗田節の全国的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節 PR(テレビ CM 等) (H24、知ってもらいたい委員会) →H24 産振補助金の活用 (事業費 433万円) ・宗田節ロード(スタンプラリー) 実施 (H29～R元) ・宗田節まつりの開催 (H30、R元) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節ポン酢が「高知家のうまいもの大賞」優秀賞受賞 (H28) ・宗田節まつり来場者数 (H30: 2,200人、R元: 2,500人) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同加工施設及び残渣加工施設の整備、運営 ・新会社(土佐清水食品(株))の効率的な組織運営 ・スープブロスの大量製造に向けた、製造ラインの整備計画及び販売計画の具体化 ・スープブロスの全国販売を通じた、宗田節の知名度の全国的な向上

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆保管・加工施設の整備及び運営	保管・加工施設の整備及び円滑な運営				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水市、土佐清水経節水産加工協同組合： 共同加工施設（R4.4月稼働予定）、残渣加工施設（R3.4月稼働予定）の整備、冷凍保管施設（H31.4稼働開始）をはじめ整備施設の円滑な運営、宗田節加工事業者の施設利用の促進 ●土佐清水食品㈱： 効率的な人員配置・生産管理等による3施設の円滑な運営 ●県（水産振興部等）： 施設整備にあたっての国補助制度活用に関する支援、衛生管理研修会の情報提供、HACCPアドバイザーの活用による社内勉強会実施を支援 				
◆スープブrossを核とした、製造・販売体制の確立	製造ライン整備	スープブrossの製造の拡大に向けた体制づくり			
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： 製造ライン整備にかかる事業計画策定、ライン整備 ●土佐清水市：製造ラインを整備する施設の貸与、市産業振興補助金による支援 ●県（地域本部等）： 製造ライン整備の事業計画策定の支援、産業振興総合補助金による支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： 新会社の効率的な運営体制の再構築、衛生管理に関する研修への継続参加 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー活用等による効率的な経営体制づくりの支援、衛生管理研修会の情報提供 		
	テストマーケティング開始	全国的な販路開拓による販売拡大			
<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱：県内・県外での本格販売に向けたマーケットリサーチ ●土佐清水市：テストマーケティングの支援 ●県（地域本部等）：県アンテナショップを活用したテストマーケティング実施の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： ターゲットを見据えた営業、市ゆかりの店（土佐清水ワールド、幡多バル等）へのアプローチ ●土佐清水市：販路開拓の支援 ●県（地域本部等）： 県アンテナショップを活用した販売促進、営業協力に関する地産外商公社への橋渡し 			
◆メジカ・宗田節の全国的なPR	スープブrossの全国展開等による宗田節の効果的な情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： スープブrossの全国的な販路開拓活動と連動した情報発信、HP及びSNSでの情報発信の強化 ●宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市： 知ってもらいたい委員会の運営、宗田節ロード及び宗田節祭りの継続開催、市ゆかりの店（土佐清水ワールド、幡多バル等）と連携したPR ●県（水産振興部、地域本部等）： 水産振興に関する補助事業による支援、知ってもらいたい委員会への参画による助言・情報提供・関係機関との連携、PR活動への人的支援 					

AP 名 (実施地域)	No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎土佐清水食品(株)、土佐清水鯉節水産加工協同組合、宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売の促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消・外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
土佐清水食品(株)の売上高	18.5億円 (H30)	18.7億円		23.6億円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆保管・加工施設の整備及び運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業戦略策定 (H29、土佐清水 HD) ・メジカ産業プロジェクト推進協議会の設立 (H29～) ・新冷凍保管施設の稼働開始 (H31.4月～) ・残渣処理施設の試験稼働開始 (R2.12月～) ・県版 HACCP 第2ステージ認証取得 (H29、土佐食) ・県版 HACCP 第3ステージ認証取得 (R元、土佐食) <p>◆スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物流通システムの整備等 (H21、元気プロジェクト) →H21 産振補助金の活用 (事業費 3,978 万円) ・殺菌・真空包装機器の整備 (H22、土佐食) →H22 産振補助金の活用 (事業費 6,878 万円) ・宗田節関連新商品開発 (H23、H25、元気プロジェクト) →H23、H25 産振補助金の活用 (事業費 1,145 万円) ・宗田節新商品 (スープブロス) の開発 (H30) ・スープブロスのテストマーケティング開始 (R元～) ・土佐清水食品(株)発足 (R元) 土佐清水ホールディングス(株)が土佐食(株)、(株)土佐清水元気プロジェクトを吸収合併 ・スープブロス製造ラインの整備 (R2) →R2 産振補助金の活用 (事業費 1 億 2,463 千万) 	<p>◆メジカ・宗田節の全国的なPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節 PR(テレビ CM 等) (H24、知ってもらいたい委員会) →H24 産振補助金の活用 (事業費 433 万円) ・宗田節ロード(スタンプラリー)実施 (H29～R2) ・宗田節まつりの開催 (H30、R元) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節ポン酢が「高知家のうまいもの大賞」優秀賞受賞 (H28) ・宗田節まつり来場者数 (H30 : 2,200 人、R元 : 2,500 人) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同加工施設及び残渣加工施設の整備、運営 ・新会社(土佐清水食品(株))の効率的な組織運営 ・スープブロスの大量製造に向けた、製造ラインの整備計画及び販売計画の具体化 ・スープブロスの全国販売を通じた、宗田節の知名度の全国的な向上

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆保管・加工施設の整備及び運営	保管・加工施設の整備及び円滑な運営				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水市、土佐清水鯉節水産加工協同組合： 共同加工施設（R4.4月稼働予定）、残渣加工施設（R3.4月稼働予定）の整備、冷凍保管施設（H31.4稼働開始）をはじめ整備施設の円滑な運営、宗田節加工事業者の施設利用の促進 ●土佐清水食品㈱： 効率的な人員配置・生産管理等による3施設の円滑な運営 ●県（水産振興部等）： 施設整備にあたっての国補助制度活用に関する支援、衛生管理研修会の情報提供、HACCPアドバイザーの活用による社内勉強会実施を支援 				
◆スープブロス为核心とした、製造・販売体制の確立	製造ライン整備		スープブロスの製造の拡大に向けた体制づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： 製造ライン整備にかかる事業計画策定、ライン整備 ●土佐清水市：製造ラインを整備する施設の貸与、市産業振興補助金による支援 ●県（地域本部等）： 製造ライン整備の事業計画策定の支援、産業振興総合補助金による支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： 新会社の効率的な運営体制の再構築、衛生管理に関する研修への継続参加 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー活用等による効率的な経営体制づくりの支援、衛生管理研修会の情報提供 		
	テストマーケティング開始		全国的な販路開拓による販売拡大		
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱：県内・県外での本格販売に向けたマーケットリサーチ ●土佐清水市：テストマーケティングの支援 ●県（地域本部等）：県アンテナショップを活用したテストマーケティング実施の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： ターゲットを見据えた営業、市ゆかりの店（土佐清水ワールド、幡多バル等）へのアプローチ ●土佐清水市：販路開拓の支援 ●県（地域本部等）： 県アンテナショップを活用した販売促進、営業協力に関する地産外商公社への橋渡し 		
◆メジカ・宗田節の全国的なPR	スープブロスの全国展開等による宗田節の効果的な情報発信				
<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水食品㈱： スープブロスの全国的な販路開拓活動と連動した情報発信、HP及びSNSでの情報発信の強化 ●宗田節をもっと知ってもらいたい委員会、土佐清水市： 知ってもらいたい委員会の運営、宗田節ロード及び宗田節祭りの継続開催、市ゆかりの店（土佐清水ワールド、幡多バル等）と連携したPR ●県（水産振興部、地域本部等）： 水産振興に関する補助事業による支援、知ってもらいたい委員会への参画による助言・情報提供・関係機関との連携、PR活動への人的支援 					

修正項目 (案)

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP 名 (実施地域)	No.16 幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築 (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)
実施主体	◎土佐清水沸騰社中、土佐清水外商流通組合、土佐清水市
AP への位置づけ	H29. 4月
事業概要	地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、土佐清水市のゆかりの店を始めとする飲食店 (土佐清水ワールド・幡多バル) 等への取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達仕組みや流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。

指標	出発点	実績					目標
	R元	R2	R3	R4	R5	R5	
出荷事業者数	33					50	

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆流通システムの構築

- ・チャーター便を利用したコンテナ輸送の試行 (H29)
- ・産業振興アドバイザーを活用し清水サバ活魚運搬及び管理についての改善 (H30:3回)
→店舗生けすの環境改善が図られ、活魚の鮮度向上につながった。
- ・土佐清水活性化組合を開設 (H30.11月)

◆地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進

- ・地産外商できる地域産品の掘り起こし (H29.4月～)
- ・加工商品生産設備の整備について検討 (H30.4月～)

<主な成果>

- ・土佐清水市内1次加工及び出荷拠点の整備
H29 (0件) → R元 (1件)
- ・ワールド・ワンの幡多関連店舗の開設
H29: 土佐清水ワールド3店、幡多バル1店 (神戸市) (計4店)
→ R元: 土佐清水ワールド9店 (神戸市4店、東京23区3店、大阪市2店)
幡多バル3店 (神戸市1店、東京23区1店、高知市1店) (計12店)

<課題>

- ・より効率的かつ安価な流通システムの構築
- ・新たに地産外商できる地域産品の掘り起こし
- ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆流通システムの構築	各市町村及び生産者、加工業者との協議・調整			市内の加工流通拠点の拡充	
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水沸騰社中：混載を進めるための取引先（生産・加工事業者）との調整、市内加工流通拠点での一次加工処理件数の増加 ●県（地域本部等）：流通の仕組みのさらなる向上に向けた産振アドバイザーの活用提案、流通システム向上に関連する機器・ソフトの導入の検討（産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性の検討、各種支援制度に関する情報提供） 			<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水沸騰社中：取引拡充に応じた拠点の拡充計画の検討 ●県（地域本部等）：拠点拡充検討に際して産振アドバイザー及び産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用 	
◆地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進	新たな地域産品及び生産加工事業者の掘り起こし、加工商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水沸騰社中、土佐清水外商流通組合、土佐清水市：生産・加工事業者を対象にした研修会の開催（飲食店等との取引ノウハウ、都市部のニーズに応じた加工商品の開発などをテーマとする） 生産・加工事業者に対し、取引に向けたアプローチや飲食店等取引事業者が求める納入に際しての一次加工の方法や新たな加工商品についての情報提供 ●県（地域本部等）：産振アドバイザー及び地域の頑張る人づくり事業の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	新たなファンづくりを通じた産地の活性化			コアなファンを通じた産地の育成	
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水沸騰社中、土佐清水市：幡多地域の市町村や幡多広域観光協議会等と連携した産地見学ツアーの設定、ツアー参加者への地域産品に関するニーズ調査の実施 ●県（地域本部等）：産地見学ツアープラン作成の検討の場への参画によるアドバイス、産振アドバイザーの活用によるツアープランづくりの専門家からの助言 			<ul style="list-style-type: none"> ●土佐清水沸騰社中、土佐清水市：産地見学ツアー参加により形成された「コアファン」の意見を生かした新たな地域産品の掘り起こし、新たな加工商品の開発 ●県（地域本部等）：産振アドバイザー、各種支援制度の活用提案 	

AP 名 (実施地域)	No.16 幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築 (土佐清水市) ※地域産業クラスター関連 (土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(株)郷土活性化組合(土佐清水活性化組合)、土佐清水外商流通組合、土佐清水市
AP への位置づけ	H29.4月
事業概要	地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、土佐清水市のゆかりの店を始めとする飲食店(土佐清水ワールド・幡多バル)等への取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達の仕組みや流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
出荷事業者数	33 (R元)	同左		50

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャーター便を利用したコンテナ輸送の試行(H29) ・産業振興アドバイザーを活用し清水サバ活魚運搬及び管理についての改善(H30:3回) →店舗生けすの環境改善が図られ、活魚の鮮度向上につながった。 ・土佐清水活性化組合を開設(H30.11月) <p>◆地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産外商できる地域産品の掘り起こし(H29.4月～) ・加工商品生産設備の整備について検討(H30.4月～) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市内1次加工及び出荷拠点の整備 H29(0件)→R元(1件) ・ワールド・ワンの幡多関連店舗の開設 H29:土佐清水ワールド3店、幡多バル1店(神戸市)(計4店) →R元:土佐清水ワールド9店(神戸市4店、東京23区3店、大阪市2店) 幡多バル3店(神戸市1店、東京23区1店、高知市1店)(計12店) →R2:土佐清水ワールド9店(神戸市4店、東京23区3店、大阪市2店) 幡多バル3店(神戸市1店、東京23区1店、高知市1店)閉店 土佐清水薫焼きワールド(鮮魚店)オープン(計10店) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より効率的かつ安価な流通システムの構築 ・新たに地産外商できる地域産品の掘り起こし ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進
---	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆流通システムの構築	各市町村及び生産者、加工業者との協議・調整			市内の加工流通拠点の拡充	
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）： 混載を進めるための取引先（生産・加工事業者）との調整、市内加工流通拠点での一次加工処理件数の増加 ●県（地域本部等）： 流通の仕組みのさらなる向上に向けた産振アドバイザーの活用提案、流通システム向上に関連する機器・ソフトの導入の検討（産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性の検討、各種支援制度に関する 			<ul style="list-style-type: none"> ●(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）： 取引拡充に応じた拠点の拡充計画の検討 ●県（地域本部等）： 拠点拡充検討に際して産振アドバイザー及び産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用 	
◆地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進	新たな地域産品及び生産加工事業者の掘り起こし、加工商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）、土佐清水外商流通組合、土佐清水市： 生産・加工事業者を対象にした研修会の開催（飲食店等との取引ノウハウ、都市部のニーズに応じた加工商品の開発などをテーマとする） 生産・加工事業者に対し、取引に向けたアプローチや飲食店等取引事業者が求める納入に際しての一次加工の方法や新たな加工商品についての情報提供 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー及び地域の頑張る人づくり事業の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	新たなファンづくりを通じた産地の活性化			コアなファンを通じた産地の育成	
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）、土佐清水市： 幡多地域の市町村や幡多広域観光協議会等と連携した産地見学ツアーの設定、ツアー参加者への地域産品に関するニーズ調査の実施 ●県（地域本部等）： 産地見学ツアープラン作成の検討の場への参画によるアドバイス、産業振興アドバイザーの活用によるツアープランづくりの専門家からの助言 			<ul style="list-style-type: none"> ●(株)郷土活性化組合（土佐清水活性化組合）、土佐清水市： 産地見学ツアー参加により形成された「コアファン」の意見を生かした新たな地域産品の掘り起こし、新たな加工商品の開発 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー、各種支援制度の活用提案 	

修正項目 (案)

修正前

幡多地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.29 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進 (黒潮町)		
実施主体	(有)ソルティープ		
APへの位置づけ	H28.4月		
事業概要	黒潮町の特産品づくりの取り組みとして推進する中心的な役割を担う天日海塩の増産体制を整備し、新たな商品の開発を行うとともに、塩に関連した観光体験事業を強化、充実させることで、黒潮町の新たな地域ビジネスを確立し、他事業者と連携を図りながら、地域の所得向上につなげる。		

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
売上高	2,261万円					2,823万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産施設の拡大及び体験受入の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾の受講 (H28) ・老朽した佐賀製塩所の改修 (H28.11月) ・看板設置 (H29.2月) →H28 観光拠点整備事業活用 ・HACCP 研修受講 (H30.9月) ・PRP 研修受講 (H30.10月) ・灘製塩所の新規結晶ハウス整備 (R元.10月) →R元産振補助金の活用 (事業費 567万円) ・HACCP アドバイザー活用 (R元: 2回) <p>◆販路開拓・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促ツール作成 (H28.8月) →H28 小規模事業者持続化補助金活用 ・ホームページ作成 (H30.3月) →H29 黒潮町産業振興推進事業費補助金活用 ・県内外での商談会等への出展 H28: 3回、H29: 4回、H30: 8回 <p>◆人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地指導での製塩技術者の育成 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩量 H28: 4,338kg→H30: 7,000kg ・塩づくり体験受入 H28: 289人→H30: 520人 ・県内事業者との商品開発 10品 (H28~R元) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制のさらなる強化 ・さらなる販路拡大に向けた県版 HACCP 第3ステージ認証取得及び販売促進 ・生産体制の強化に伴う人材の確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産施設の拡大及び体験受入の体制強化	HACCP取得 → 新規結晶ハウス整備検討・整備工事・稼働				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 県版 HACCP 第3ステージ認証取得 ●県（地域本部等）： HACCP 研修及びアドバイザー活用による認証取得支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 事業計画の作成、基本設計、実施設計、工事、生産規模拡大、塩づくり体験受入体制の強化 ●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金による施設整備支援 		
◆販路開拓・販売促進	各種商談会への出展				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ：各種商談会への出展を通じた販路開拓、商品のさらなる充実、メディア媒体を活用した情報発信強化 ●県（地域本部等）：高知県地産外商公社やメディア媒体などの関係機関への橋渡し、各種支援制度に関する情報提供 				
	販促活動				
<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 原料供給による連携事業者との関係性強化及び新商品開発、商品規格の種類増加、塩づくり体験者への商品 PR ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案 					
◆人材確保	製塩作業を実践しながら人材（担い手）の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 人脈等を活用した後継者の確保、OJTによる育成 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p> <p>・PRP：「Prerequisite Program」の略。食品安全衛生上におけるハザードを減少させるために前提となるルールをつくり、管理する手段のこと。</p> <p>・OJT：「On The Job Training」の略。実際の職務現場において、業務を通して上司や先輩職員が部下の指導を行う教育訓練のこと。</p>					

AP名 (実施地域)	No.30 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進 (黒潮町)
実施主体	(有)ソルティープ
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	黒潮町の特産品づくりの取り組みとして推進する中心的な役割を担う天日海塩の増産体制を整備し、新たな商品の開発を行うとともに、塩に関連した観光体験事業を強化、充実させることで、黒潮町の新たな地域ビジネスを確立し、他事業者と連携を図りながら、地域の所得向上につなげる。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	2,195万円 (H30)	2,546万円		2,823万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産施設の拡大及び体験受入の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾の受講 (H28) ・老朽した佐賀製塩所の改修 (H28.11月) ・看板設置 (H29.2月) →H28 観光拠点整備事業活用 ・HACCP研修受講 (H30.9月) ・PRP研修受講 (H30.10月) ・灘製塩所の新規結晶ハウス整備 (R元.10月) →R元産振補助金の活用 (事業費567万円) ・HACCPアドバイザー活用 (R元:2回、R2:1回 (R2.11月末時点)) <p>◆販路開拓・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促ツール作成 (H28.8月) →H28 小規模事業者持続化補助金活用 ・ホームページ作成 (H30.3月) →H29 黒潮町産業振興推進事業費補助金活用 ・県内外での商談会等への出展 H28:3回、H29:4回、H30:8回、R元:6回 R2:2回 (R2.11月末時点) <p>◆人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地指導での製塩技術者の育成 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩量 H28:4,338kg→H30:7,000kg→R元:7,500kg ・塩づくり体験受入 H28:289人→H30:520人→R元:505人 ・県内事業者との商品開発 12品 (H28~R2.11月末時点) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制のさらなる強化 ・さらなる販路拡大に向けた県版 HACCP 第3ステージ認証取得及び販売促進 ・生産体制の強化に伴う人材の確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産施設の拡大及び体験受入の体制強化	HACCP取得 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 県版 HACCP 第3ステージ認証取得 ●県（地域本部等）： HACCP 研修及びアドバイザー活用による認証取得支援 		新規結晶ハウス整備検討・整備工事・稼働 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 事業計画の作成、基本設計、実施設計、工事、生産規模拡大、塩づくり体験受入体制の強化 ●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金による施設整備支援 		
	◆販路開拓・販売促進				
各種商談会への出展 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ：各種商談会への出展を通じた販路開拓、商品のさらなる充実、メディア媒体を活用した情報発信強化 ●県（地域本部等）：高知県地産外商公社やメディア媒体などの関係機関への橋渡し、各種支援制度に関する情報提供 					
販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 原料供給による連携事業者との関係性強化及び新商品開発、商品規格の種類増加、塩づくり体験者への商品 PR ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案 					
◆人材確保					
製塩作業を実践しながら人材（担い手）の育成 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)ソルティープ： 人脈等を活用した後継者の確保、OJTによる育成 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 					
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハザップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p> <p>・PRP：「Prerequisite Program」の略。食品安全衛生上におけるハザードを減少させるために前提となるルールをつくり、管理する手段のこと。</p> <p>・OJT：「On The Job Training」の略。実際の職務現場において、業務を通して上司や先輩職員が部下の指導を行う教育訓練のこと。</p>					

修正項目 (案)

修正前

幡多地域アクションプラン

分野

商工業

AP 名 (実施地域)	No.32 黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進 (黒潮町)
実施主体	◎(株)黒潮町缶詰製作所、黒潮町
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	農水産物等、地域産品を活用した防災関連食品の製造・販売体制を構築し、「地産」・「地消」・「外商」を図ることで、雇用機会の創出及び地域生産者の所得向上につなげていく。

指標	出発点	実績				目標
	(H28~H30 平均)	R2	R3	R4	R5	R5
売上高	7,600 万円					1 億円

これまでの主な動き

◆施設・体制の充実強化

- ・加工場を整備 (H26.3月) 4月から稼働
- ・(株)黒潮町缶詰製作所 (第三セクター) を設立し、黒潮町特産品開発推進協議会の事業を継承 (H26.3月)
- ・品質管理体制強化に向け専門家からなるアドバイザーチームを編成 (H27)
- ・作業施設の改修工事 (H29.3月)
- ・HACCP 認証取得に向けた研修受講 (H28)
- HACCP アドバイザー制度活用 (H29)
- 全商品が県版 HACCP 第3ステージ認証取得 (H31.3月)

◆商品開発・販路開拓

- ・高知県防災関連製品認定 (H27.12月)
- ・OEM の販路拡大強化 (H28~)
- ・高知家うまいもの大賞 2019 審査員特別賞受賞 (H30.12月)
- ・ホームページリニューアル (H30.3月)
- H29 黒潮町産業振興推進事業費補助金活用
- ・中期事業戦略を策定 (R元~)
- 高知県産業振興センター事業戦略策定支援活用
- ・商談会への出展

<主な成果>

- ・商品開発
- H26~H30 累計 37 品目

<課題>

- ・工場移転に向けた計画策定
- ・人材育成及び人員確保
- ・新規取引先の拡大
- ・新商品開発及び域内産品を活用できるレシピの開発

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆施設・体制の 充実強化	工場移転に向けた計画策定		工場建設工事・新工場稼働		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 基本構想作成、用地買収 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 施設整備 ●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金の活用提案 		
◆商品開発 ・販路開拓	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 自立的な運営体制の構築、HACCPに基づく衛生管理の維持、包装食品技術管理者の取得、作業の効率化、パート職員の正職員雇用の検討 ●県（地域本部等）： 高知県産業振興センターによる支援（事業戦略策定支援） 				
◆商品開発 ・販路開拓	新商品の開発・既存商品の改良				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品改良、商品化の実現 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供 				
◆商品開発 ・販路開拓	商談会・展示会への参加				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 商談会等への出展 ●県（地域本部等）： 商談会等の紹介、関係者への橋渡し支援 				
<p>【用語】 ・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p> <p>・OEM：「Original Equipment Manufacturer」の略。他社ブランドの製品を製造すること、またはその企業。日本では「相手先ブランド名製造」などと訳される。なお、販売ブランドが流通業の場合はプライベートブランド（PB）と呼ぶことが多い。</p>					

AP名 (実施地域)	No.34 黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進 (黒潮町)
実施主体	◎(株)黒潮町缶詰製作所、黒潮町
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	農水産物等、地域産品を活用した防災関連食品の製造・販売体制を構築し、「地産」・「地消」・「外商」を図ることで、雇用機会の創出及び地域生産者の所得向上につなげていく。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	7,600万円 (H28～30平均)	9,600万円		1億円

これまでの主な動き

◆施設・体制の充実強化

- ・加工場を整備（H26.3月）4月から稼働
- ・(株)黒潮町缶詰製作所（第三セクター）を設立し、黒潮町特産品開発推進協議会の事業を継承（H26.3月）
- ・品質管理体制強化に向け専門家からなるアドバイザーチームを編成（H27）
- ・作業施設の改修工事（H29.3月）
- ・HACCP認証取得に向けた研修受講（H28）
HACCPアドバイザー制度活用（H29）
→全商品が県版 HACCP 第3ステージ認証取得（H31.3月）

◆商品開発・販路開拓

- ・高知県防災関連製品認定（H27.12月）
- ・OEMの販路拡大強化（H28～）
- ・高知家うまいもの大賞2019審査員特別賞受賞（H30.12月）
- ・ホームページリニューアル（H30.3月）
→H29 黒潮町産業振興推進事業費補助金活用
- ・中期事業戦略を策定（R元～）
→高知県産業振興センター事業戦略策定支援活用
- ・商談会への出展

＜主な成果＞

- ・商品開発
H26～R元累計37品目

＜課題＞

- ・工場移転に向けた計画策定
- ・人材育成及び人員確保
- ・新規取引先の拡大
- ・新商品開発及び域内産品を活用できるレシピの開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆施設・体制の 充実強化	工場移転に向けた計画策定				工場建設工事 新工場稼働
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 基本構想作成、用地買収 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 施設整備 ●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金の活用提案 		
◆商品開発 ・販路開拓	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 自立的な運営体制の構築、HACCPに基づく衛生管理の維持、包装食品技術管理者の取得、作業の効率化、パート職員の正職員雇用の検討 ●県（地域本部等）： 高知県産業振興センターによる支援（事業戦略策定支援） 				
◆商品開発 ・販路開拓	新商品の開発・既存商品の改良				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品改良、商品化の実現 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供 				
◆商品開発 ・販路開拓	商談会・展示会への参加				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)黒潮町缶詰製作所： 商談会等への出展 ●県（地域本部等）： 商談会等の紹介、関係者への橋渡し支援 				
<p>【用語】 ・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p> <p>・OEM：「Original Equipment Manufacturer」の略。他社ブランドの製品を製造すること、またはその企業。日本では「相手先ブランド名製造」などと訳される。なお、販売ブランドが流通業の場合はプライベートブランド（PB）と呼ぶことが多い。</p>					